

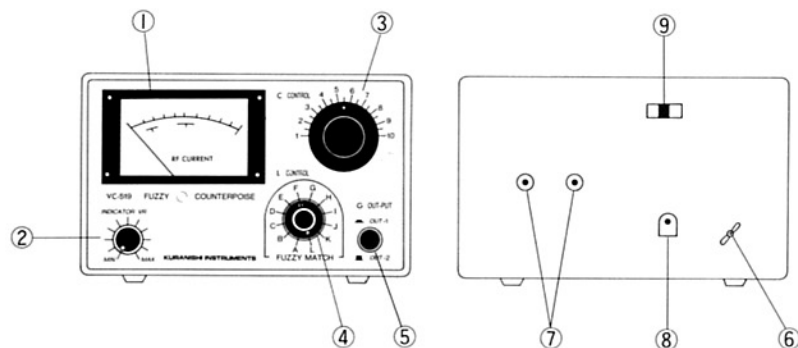
この度はクラニシのファジーカウンターボイズVC-519をお買い上げいただきありがとうございます。

VC-519は無線局のアースが取りにくい場合や、アパート、マンション等アースが取れない場合に最適です。

又、無線局が二階、三階にある時はアース線が長くなり高周波的にスタンディングが立ってアースとして実用にならない場合等にも最適です。このような状態の時は無線機の筐体シャーシの高周波電位が高くなり、筐体輻射や感電等の悪影響が発生します。

これ等を本機によって使用周波数に最適にマッチングさせ、改善することができます。

A. 各部の名称及び説明



①RF電流計。本機の調整点を見るための電流計です。最大電流点が調整点です。

②電流計の感度を調整するボリューム。メーター針の見やすい点（T点、2ヶ所）に合せます。

③バリコン調整ツマミ（C. CONTROL）です。

④コイルタップ調整ツマミ（L. CONTROL）です。

⑤出力端子切替スイッチボタンです。OUTPUT-1、OUTPUT-2を切替えます。

⑥シャーシ接続端子です。この端子と送信機及びアンテナチューナの接地端子を最短で接続して下さい。

⑦出力端子（接地線及びカウンターボイズ接続端子）です。2ヶの端子をパネル面で切替えて使用できます。

⑧電源端子です。メーター照明ランプ用電源（13.8Vセンタープラス）を接続します。

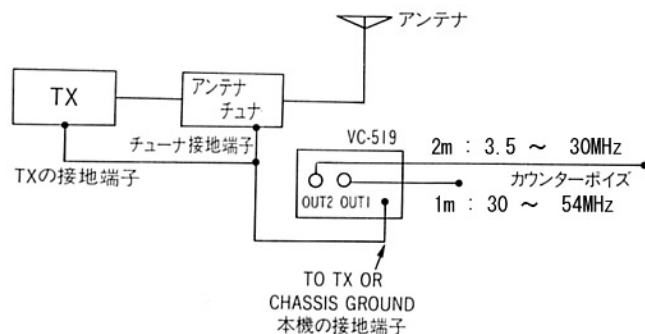
⑨メーター照明ランプON OFFスイッチです。

（⑧、⑨はメーター照明が不要の場合は、使用しなくてよい。本機の動作には影響ありません）

B. 本機と無線設備との接続

①無線機のアース端子とアンテナチューナのアース端子及本機のアース端子を出来るだけ短かく導通の良い電線で接続して下さい。

②本機の OUTPUT-1及 OUTPUT-2の端子は接地からのアース線や、任意の長さのカウンターボイズ線を接続して下さい。パネル面で切替えてきます。



C. 使い方

本機は無線機及び付属機器のアースがとれない時やアースラインが長くて効果がない場合に、良いアースを接続したのと同等の効果を電氣的に作り出します。調整の方法は下記のようにします。

①②の電流計感度調整をMAXにして③バリコン調整を5～6目盛にしておく。

④送信機を搬送波のあるモード（AM.FM.CW.等）で送信し④のコイルタップ調整（FUZZY CONTROL）を回し、①の電流計の針が最も良く振れる点にします。振り切れる場合は②を絞りにメータの測定点近くにする。

⑤次にバリコン調整ツマミ（C.CONTROL）を左右に廻して①の電流が最大になる点をさがして下さい。

単的に云えば無線機筐体に誘起した送信時のRF電圧を、L.Cの調整回路によってゼロに低下させるわけです。

電流と電圧は電気角90°位相がずれていますので電流の最大点はすなわち電圧の最低点として測定出来るわけです。

D. 測定調整時の注意点

①本機で電流を最大に調整しようとしても測定出来ない場合があります。本